美しいまちづくりのために

かなざわ景観だより

第2号

平成七年（一九九五）四月発行
■企画編集／景観だより編集委員会
■発行／金沢市広坂二丁目一一
金沢市都市政策部まちなみ対策課
（〇七六二）二〇一三六四

LANDSCAPE NEWS OF KANAZAWA

こまちなみに出会う

―昔も今も変わらぬ息づかい…―

金沢には、貴重な歴史的建築物が今もなお、数多く残っており、個性的なまちなみに歴史と文化の彩りを添えています。「こまちなみ」とは歴史的風情を残す、そんなちょっとした良いまちなみのことを言います。また、「こまちなみ」は単にまちなみとして美しいだけではなく、そこに住む人々の生き生きとした生活の匂いの感じられるまちなみでもあります。

おおのまち 大野町

大野は、北前船などの流通の要所、港町として、また、江戸初期から「大野醤油」の銘を持つ醸造の地として栄えてきました。

旧市街地から北西に約六キロメートル、日本海に面し、金石（きんせき）から大野川みなと橋に続く県道沿いを中心として、漁業、海運業、醤油醸造業など古くからの営みを伝える数多くの民家とともに、落ち着きのある住宅街がひろがっています。散策路「やすらぎの林」から見る日本海の夕日が美しく、また、日吉神社裏手にはからくり細工で知られ、優れた識者である大野井吉の屋敷跡、伝泉寺にはその墓があります。このように大野は、自然豊かで歴史的風情のある「まちなみ」のひとつです。

いわゆる町家形式の歴史的な建築物が散在し、町家の特徴である袖卯建（ソデウダツ）、一階軒下の曲線を伴った下がり、木虫籠（キムスコ）等の木格子、玄関の大戸などの情え方や往時の姿を伝えています。ほとんどが平入り瓦葺き屋根の木造二階建てですが、かつては石置き屋根であったことを思わせる勾配の緩い屋根や平屋建ても見受けられます。

全体的には旧城下町内の町家の外観とほとんど変わりませんが、比較的骨太の造りや玄関横から荒格子、細い出格子と連なる二段構成の木格子などが特徴的です。また、醤油醸造業という地場産業の関係上、醤油蔵に代表される規模の大きい板張りの土蔵が、主屋の横や後に設けられています。

通りを歩くと、昔そのままの情えに改修されている建物が見られ、そこに住む人々の伝統を大切にする心遣いが感じられます。大野では、「金沢みなと・大野まちづくり21」を設立し、様々な角度から地域ぐるみでまちづくりに取り組んでいます。旧城下町だけでなく金沢の歴史とともに歩んできた、このようなまちなみも大切にしていきたいものです。

まちのれきし

旧石川郡大野庄の一部で、河北潟から日本海へと注ぐ大野川河口に位置する。慶応二年（一八六六）に宮腰（金石）町と合併して金石町となるが、市町村制で下金石町を経て大野町に戻り、昭和一〇年（一九三五）金沢市へ編入となった。

編入以前は坂本町、船手町、鍵町、港川町、亀齢町、稲荷町、蓮池町、茶筅町、庄町、上野町、南町に分かれていたが、現在は大野町一～七丁目に改称している。

河口にある大野港は昭和二九年（一九五四）に金石港と合併して金沢港となり、北陸の重要港湾となっている。

（参考文献）
『金沢・町物語』能登印刷出版部
『石川県大百科事典』北国新聞社

まちのひと

直江茂行
金沢市大野町
四丁目九六

古さと新しさが混在しているまちなみとはいえ、昔ながらの落ち着いた風情を色濃くとどめている大野町では、地域の特色を生かしたまちづくりを推進するため「金沢みなと・大野まちづくり21」を昨年発足しました。各住民に密着したきめの細かさをモットーに街並み景観創出、水辺活用推進、土地活用推進、産業振興推進、イベント推進、生活環境推進の6部門を設置し、それぞれ専門的に作業を進めております。

かつて藩主がこの町を醤油の醸造地に選んだように、金沢市全体のまちづくりから見た大野町の役割というものがあるならば、それを生かしていきたいとも考えています。

まちづくりに関して行った昨年の調査結果をもとに、今後も金沢市内外の関係機関と情報交換をしながら、魅力ある大野町になれるよう取り組んでいきたいと思っております。

景観美カタログ

第17回金沢都市美文化賞

▲石川県幸町庁舎（幸町）
用水、土塀、植栽帯などに、歴史的風情への配慮がなされています。

▲金沢市立ふるさと偉人館（下本多町6番丁）
土塀や、割肌調のタイル、黒瓦が、周辺との一体感を醸し出しています。

▲ポルテ金沢（本町2丁目）
金沢の都市景観にマッチし、新しいランドマークとして、金沢の玄関口にふさわしい建物です。

▲宇都宮広坂ビルおよび柿木畠ポケットパーク（広坂1丁目）
ビルは色や看板等に配慮をし、ポケットパークは潤いと安らぎを演出しています。

▲金沢電気ビル（下本多町6番丁）
隣接する建物と壁面線をあわせて街並みの統一感を醸し出しています。

▲金沢市押野公民館、金沢市立押野児童館および金沢市役所押野出張所（八日市2丁目）
3つの機能を1つの建物にうまく包含し、周辺環境とも調和しています。

▼中村住宅開発（株）（西念町）
ハーフミラーと壁面の色彩が、金沢の新しさと歴史を想像させます。

▲グリーンアーツ（泉野出町4丁目）
地形と調和させるため高さを抑えてあり、デザインにも配慮が伺えます

◀米谷半平邸（長町1丁目）
周囲の景観に配慮した色彩や様式を用いながら重量感を醸し出しています。

▶中山邸および神邸（久安1丁目）
屋根や外壁色、塀の共通化により、統一感のある界隈を創出しています。

▲三谷産業（株）（玉川町）
透明感のある建物は、周囲の緑に溶け込んでさわやかさを感じさせます。

気配り賞

▶長町武家屋敷界隈の庭園曲水（長町2丁目）
自宅の門と土塀の一部を撤去して、用水を庭園に引き込んだ曲水を公開、来訪者の目を楽しませています。

▶山茂利旅館（東山1丁目）
1階の木格子、2階の雨戸など、茶屋様式の伝統的意匠を採り入れるなど、ひがし茶屋街のまちなみに配慮しています。

第7回いしかわ広告景観賞

▲（株）ポルテ金沢（本町2丁目）
高層ビルに遠望がちなサインは歩行者へのやさしさにあふれています。

▲北陸電力（株）石川支店北電産業（株）（下本多町6番丁）
植栽、彫刻群の中で、デザイン配慮の行き届いたサイン群となっています。

▲石川県自動車サービス協同組合（北寺町）
グラフィック的にまとめたカラーリングで、工場の機能、配置をビジュアルに表現しています。

▲杉園科クリニック（尾張町2丁目）
御影石をサインに使うことにより、統一感、高級感あふれる作品となっています。

▲炭火串焼　花見小路（額新保1丁目）
のれんと額という伝統的なサイン手法がモダンな建物に映えています。

▲（株）ジャパンエナジー（西泉4丁目）
金沢の地域特性を考慮し、企業カラーの緑を鳥色に変えたことが評価されます。

▲水ひき亭（高岡町）
金沢情緒の中に、近代的センスが光る小型サインがファサードをうまくまとめています。

▲ひかり眼科クリニック（大額3丁目）
ステンレスの鋼面とヘアーラインのコントラストが美しい。

都市景観市民フォーラム「いいね金沢　まちなみ体感」

市民とともに、より魅力的で、個性豊かな都市景観を磨きあげていくために、六回にわたって、都市景観市民フォーラムを開催しました。フォーラムでは、金沢の景観についてテーマごとにゲストスピーカーの方に講演していただき、また参加者全員でまちなみや景観について話し合っていただきました。

●第一回（平成七年一月一二日）

「スケッチからの発想と美観」

俵谷雄氏（画家・石川工業高等専門学校名誉教授）

良好な景観をつくっていくときには、必ず急所があります。どこもかこもきれいにするということはできるはずがありません。どこか最大公約数的なものを見つけて、それを押していけば、金沢というまちは、かなり美しいまちになっていくと思います。最大公約数というのは、例えば、街路樹でもいいし、瓦屋根であってもいいと思います。何かエレメントのうち、一つを見つけることが大事なのではないかと思っています。何もかもということではなく、一つ共通点を見つけては、まちの景観は良くなってくるだろうと思います。

●第二回（平成七年一月一六日）

「金沢のまちなみはどんな色」

山岸政雄氏（金沢美術工芸大学教授）

香林坊や浅野川周辺のまちなみには、茶系の色が連なっています。黒土の色、関ヶ辻の色として、やっぱりこういう色かなということで了解された色です。

金沢の色の基をなしているのは木の色、「木色」といえるでしょう。たとえ建材がコンクリートなどの素材でも、色が「木色」の範囲なら、類比するので、かなり安心して金沢だと思うことができるのです。

したがって、景観条例の中でも、金沢らしさをそのような色の幅（カラーレンジ）で推奨していくということになるかと思います。

●第三回（平成七年一月一九日）

「水のまち金沢の魅力再発見」

笹倉行氏（NTT金沢支店長）

私が川や用水に興味を持ったのは、東京で七年程前に川や用水沿いを自転車で走り始めたのがきっかけでした。川や用水を調べているうちに都市がどうやって出来てきたか、また今日に地名等にどう残っているかがわかってきて、面白いなと思いました。

二年半程前に金沢に来て同じようこに自転車で走り回ったところ、東京とは別だということがわかってきました。特に金沢は豊富な水量を持ちかなりのスピードで街中を流れる用水が多くあるという点でユニークな都市です。それら用水がそれぞれの歴史を持ち、町の景観にアクセントを与えていることを理解いただきたい。

●第四回（平成七年一月二三日）

「外国人建築家が見る金沢」

アルベルト・ストフライス氏（建築家・陶芸家）
＊「金沢・しいまちづくり」参照

●第五回（平成七年二月九日）

「まちなみのデザインあれこれ」

大場吉美氏（デザイナー）

現在の都市問題の解決方法を考えたとき、私なりに思ったのは、一人になるかシステムになるかわかりませんが、プロデューサーをつくっていく必要があるということです。

都市の姿は、その土地に生活している人のセンスや考え方が全部表現されてしまいます。ですから最終的には、先を見通せる人というか、金沢というエリアだけでなく、日本というレベル、あるいは世界というレベルで物事をとらえ、金沢のまちをどうされば一番素晴らしいまちになるかというビジョンを掲げる人またはシステムが必要になってくると思います。専制主義と誤解されては困りますが、そういうシステムをつくり上げることが重要ではないでしょうか。

●第六回（平成七年三月一八日）

「まち歩き～ひがし界隈を歩く～」

岡本勇作氏（金澤東山まちづくり協議会）

昔は良かった、あれは残したいといった意見が多くありますが、その当時住んでいた方の時代背景や現在住んでいる人たちの生活環境を考えたうえでの話が思いやりのある話になるのではないかと思います。東山界隈を一覧になるときは、どうぞこの辺りを注目しておきたい。

私たちは、管理人さん、管理母さん、祖父さんや祖母さんの暮らしを教えられるのみならず、それが体の中の血で受け継いで、その中から自らに合った物を創り出し「加賀の庶民文化」「金澤の町民文化」として「金澤東山文化」を伝承して来た。

そしてそれを創り出し、育んできたのが東山界隈に住む女たちだったのではないでしょうか。

フォーラムに参加して

「金沢の町と用水のあり方を再考したい」

中越　良さん（74才）

フォーラムに参加するたびに、長年暮らしてきた金沢という町の魅力を再認識しています。とくに「金沢は昔から多くの用水が整備されていた」という第三回の講演を聞いてからは、町を歩くとも用水や川といった水の流れが気になるようになりました。阪神大震災のこともあり、改めて町と水の関係を考えてみたいと思っています。

「見慣れたまちなみも、視点を変えれば新鮮に」

今村敏三さん（43才）

フォーラムに参加してからは、町中を歩くのが楽しみになりました。古い建造物に見られる、金沢らしさ・景観美を支えるものとして必要だと感じていますが、いろんなお考えを持った講師の方々のお話を聞いたり、行ったことのない土地の景観をスライドで見たりしているうちに、ただ残すことばかり考えても景観美には繋がらないのではとの思いも出てきました。思えば、保存と景観美とは別問題だということをつくづく感じています。

「"点"から"線"の美しさに期待したい」

小谷内外喜子さん（57才）

動めていたときはほとんど車で移動していたせいか、まちなみのことにはあまりたいした関心がありませんでした。町の個性などころや不便なことが目につくようになったのは、退職して散策する機会が増えてからのことです。フォーラムの知識をもとに私なりに考えてみると、せっかく美しい金沢のまちなかがあっても、それが"点"でしか存在していないように思えます。"線"へと変化させるのは難しいでしょうが、ぜひ実現してほしいですね。

「まちなみを楽しみながら歩くようになった」

横田真紀さん（27才）

まちなみの魅力って、時間を気にせずゆっくり歩いてわかるものだと教えていただいたこのフォーラム。出席して面白いと感じたのは、金沢の町の魅力を話される講師が金沢出身ではない方が多いことです。外からのほうがよく見えることってあるんですね。せっかくの古い家やまちなみは壊れないほうがいいと思いますが、どうしたらいいのかという具体案が出てこないのが気になるところでしょうか。

おしらせ

●今年も一緒に魅力ある金沢の都市景観写真コンテスト」を実施します。（募集時期は6月～7月末）
緑豊かな自然や歴史を感じさせるまちなみ、にぎわいと活気にあふれる街の表情など、季節感あふれる金沢の景観をカメラを通して再発見してみませんか。金沢の魅力や美しさにふれ、より一層、理解を深めること、に役立つことと思います。
募集要項等詳しくはまちなみ対策課までお問い合わせください。

●昨年度に引き続き、今年度も「都市景観市民フォーラム」の開催を予定しています。
景観形成の主役である市民の皆様の関心が高まり、市民一人一人の知恵と努力が結集されていくことがこれからの景観形成の鍵になります。多彩なゲストと懇談をしながら、金沢のまちなみや景観についてともに考えてみませんか。
開催日程等詳しくは、後日、金沢市広報等で発表いたします。

●まちなみ対策課では、景観について皆様の率直なご意見やご感想をお待ちしております。
また、次号以降の「かなざわ景観だより」の企画・内容についてのご要望や情報もお送りください。お待ちしております。

TREE FREE
トータル・エコロジー・バランスに優れた21世紀の紙「ツリー・フリー・ペーパー」（非木材紙）を使用しています。